

## 部門別事業報告

IX 環境調査

X 母子保健

先天性代謝異常等検査

胆道閉鎖症マススクリーニング検査

XI 健康支援

XII 結核予防

XIII 諸行事

## 環境調査

作業環境測定は有害物質の濃度や有害エネルギーなどの物理量を測定し作業環境評価を行うもので、環境改善のための工学的対策を講ずる重要な情報となる。種々の有害要因を減少させ、作業環境を適正に保ち、働く人々の健康障害を防止するための作業環境管理の基本となるものである。また、個々の労働者の有害物ばく露の管理手法として、個人サンプラーを労働者に装着して有害化学物質による個人ばく露濃度を推定する測定は、作業方法の改善や保護具管理の重要な情報となっている。

公共の建築物や学校などにおける揮発性有機化合物等の測定や、ダニ又はアレルゲン検査、公衆浴場などのレジオネラ属菌検査は化学物質や細菌等により健康を害することがないように管理が求められている。

### ■実施状況

作業環境測定（労働安全衛生法第65条によるもの又は準ずる測定）を実施した事業場は延べ472事業場（前年473）であった。延単位作業場所は1,873箇所（前年1,826）であった。発がんの恐れのあるクロロホルムほか9物質の特別有機溶剤が特定化学物質（第2類物質）に追加されたことを受け、前年より増加した。作業環境測定以外の環境測定は、学校及び公共施設の室内空気環境中の揮発性有機化合物（VOC）の測定を中心に822件であった。

### ■検査成績

延単位作業場所の管理区分内訳は、第1管理区分（作業環境管理が適切である）が1,470（全体の78.5%）、第2管理区分（作業環境管理になお改善の余地がある）が181箇所（9.7%）、第

3管理区分（作業環境管理が適切でない）が222箇所（11.9%）である。第2・第3管理区分を併せた403箇所（21.6%）は作業方法の改善や工学的対策などの作業環境改善が必要となる。測定項目別では粉じん、騒音の第2・第3管理区分の割合が高くなっている。労働安全衛生法第65条によらない測定（管理濃度等が設定されていない物質、環境改善のための測定や検査など、評価基準による評価をしない測定）をその他の項目としており、273件であった（表1）。

作業環境測定以外の環境測定の内訳は、揮発性有機化合物（VOC）の測定が669件、ダニ又はダニアレルゲンの検査が68件、石綿の室内空気環境測定が15件、レジオネラ属菌検査が8件であった（表2）。

### ■作業環境測定における主な採取・分析方法

対象項目	採取方法	分析方法
有機溶剤	固体捕集法	ガスクロマトグラフ法
	検知管法	
粉じん	相対濃度指示法	
	ろ過捕集法	重量分析法
金属	ろ過捕集法	原子吸光光度法
	液体捕集法	
特定化学物質	ろ過捕集法	重量分析法、液体クロマトグラフ法
	検知管法	
	液体捕集法	吸光光度法
	固体捕集法	ガスクロマトグラフ法

## ■管理区分と管理区分に応じた講ずべき措置

管理区分	作業場の状態	講ずべき措置
第1管理区分	当該単位作業場所のほとんど（95%以上）の場所で気中有害物質の濃度が管理濃度を超えない状態	現在の管理の継続的維持に努める
第2管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えない状態	施設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずるよう努める
第3管理区分	当該単位作業場所の気中有害物質平均が管理濃度を超えている状態	①設、設備、作業工程又は作業方法の点検を行い、その結果に基づき、作業環境を改善するため必要な措置を講ずる ②有効な呼吸用保護具の使用 ③健康診断の実施その他労働者の健康の保持を図るため必要な措置を講ずる

表1 測定件数・項目別事業場数・単位作業場所数 ( )内は%

区分(測定項目)	測定件数 *1	測定実施事業場延数 *2	延単位作業場所数 *3	延単位作業場所の管理区分内訳(割合%)*4		
				第1管理区分	第2管理区分	第3管理区分
計	15,423	472	1,873	1,470 (78.5)	181 (9.7)	222 (11.9)
粉じん(石綿を除く)	4,603	157	438	297 (67.8)	32 (7.3)	109 (24.9)
特定化学物質	2,656	224	400	345 (86.3)	33 (8.3)	22 (5.5)
石綿	24	2	4	4 (100.0)		
金属	686	46	103	95 (92.2)	4 (3.9)	4 (3.9)
有機溶剤	5,205	317	779	684 (87.8)	57 (7.3)	38 (4.9)
騒音	1,976	38	149	45 (30.2)	55 (36.9)	49 (32.9)
その他	273	42				

- \*1: 作業環境測定の結果の評価等に用いた測定点総数
- \*2: 測定項目ごとの実施事業場延数(総数は1項目以上の実施事業場延数。但し、その他の項目を除く)
- \*3: 作業環境測定結果の評価を実施した延単位作業場所の項目ごとの場所数(単位作業場所:作業環境測定結果の及ぶ範囲)
- \*4: 各項目における管理区分ごとの単位作業場所数及び割合(割合は計算上、合計が100%にならない場合がある)
- \*5: 作業環境測定であるが、結果の評価を実施しなかった測定の総件数及び事業場延数(分析のみの測定を含む)

表2 作業環境測定以外の環境測定実績

名称	根拠となる法令等	物質名等	測定件数
計			822
揮発性有機化合物(VOC)の室内空気環境測定	官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン	279
室内空気中の石綿測定	学校環境衛生基準	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、p-ジクロロベンゼン	390
ダニ又はダニアレルゲンの検査	学校環境衛生基準	ダニアレルゲン	68
レジオネラ属菌検査	公衆浴場法および同法施行条例、旅館業法および同法施行条例に基づく検査	浴槽水中のレジオネラ属菌	8
教室の換気、一酸化炭素の測定	学校衛生環境基準	二酸化炭素、一酸化炭素	31
温湿度の測定	学校衛生環境基準	温度、相対湿度	31

## 母子保健

赤ちゃんの病気の中には、新生児期のうちに発見し治療を行うことで心身障害の発症を防止し、命の危険を回避することができるものがある。当協会では、岩手県の委託を受け、従来の対象6疾患に加え平成23年2月より新たにタンデムマス検査を導入し計25疾患を対象とした先天性代謝異常症検査を実施している。また、岩手県医師会の委託を受けて胆道閉鎖症マスキリング検査結果の集計を行っている。いずれも早期発見・早期治療を目的としたものである。

### 1. 先天性代謝異常等検査

#### ■検査方法

生後4～6日の間に足の裏(踵)から極少量の血液を採取し、次の方法によって検査を実施した。

- ①先天性甲状腺機能低下症：酵素免疫測定法
- ②先天性副腎過形成症：酵素免疫測定法
- ③ガラクトース血症：ガラクトース脱水素酵素・マイクロプレート法
- ④アミノ酸代謝異常：タンデムマス法
- ⑤有機酸・脂肪酸代謝異常症：タンデムマス法

#### ■実施状況

平成26年度の検査人数(初回採血)は9,738人であった。再採血(2回目)、再々採血(3回目)の検査人数はそれぞれ、440人、30人であった(表1-1)。また、体重2,000g未満の低出生体重児に対しては初回採血時が正常であっても体重が2,500gに達した時点などで再度採血することを勧奨している。低出生体重児は平成26年度検査人数のうち207人であった。また、初回正常者141人のうち体重2,500gに達した時点の再採血(2回目)検査人数は108人であった(表1-2)。

#### ■検査成績

初回採血検査からの精密検査対象者数は89人、全体の0.9%であった。その内訳は、先天性甲状腺機能低下症(以下①とする)検査42人、先天性副腎過形成症(以下②とする)検査34人、ガラクトース血症(以下③とする)検査6人、アミノ酸・有機酸・脂肪酸代謝異常症(以下④とする)検査6人であった。また、①、②検査の複数項目に所見が認められたのは1人であった(表1-1)。

低出生体重児の初回正常者141人のうち、2500gに達した時点の再採血実施は108人(76.6%)、そのうち44人に所見が見られた(所見率40.7%)。また、精密検査対象となったのは16人、そのうち①検査13人、②検査1人、①②検査2人であった(表1-2)。

表1-1、1-2は、複数項目で所見を認めた場合、各検査項目で加算しているため実数ではなく延べ人数で示している。

表 1-1 先天性代謝異常等検査成績 ( )内は%

初回採血	内訳	初回採血検体検査人数 9,738名			
		先天性甲状腺機能低下症	先天性副腎過形成症	ガラクトース血症	アミノ酸・有機酸・脂肪酸代謝異常症
初回	正常	9,515 (97.71)	9,607 (98.65)	9,671 (99.31)	9,702 (99.63)
	要再採血	219 (2.25)	127 (1.30)	67 (0.69)	32 (0.33)
(1回目)	要精密検査	4 (0.04)	4 (0.04)	0 (0.00)	4 (0.04)
	正常	188 (1.93)	96 (0.99)	61 (0.63)	30 (0.31)
再採血	要再採血	0 ※ [28]	0	0	0 ※ [4]
	要精密検査	31 (0.32)	31 (0.32)	6 (0.06)	2 (0.02)
(2回目)	正常	18 (0.18) ※ 1	0	0	4 (0.04)
	要再採血	0	0	0	0
再々採血	要精密検査	8 (0.08)	0	0	0
	要精密検査	8 (0.08)	0	0	0

※ [ ] : 2回目以降の検査で全項目の検査を実施することにより、新たに所見のあった人数  
※ 1 : 2名3回目受診せず

表 1-2 低出生体重児初回正常者の検査成績 ( )内は%

低体重児 初回正常者 内訳	低体重児初回正常者検査人数 108名			
	先天性甲状腺機能低下症	先天性副腎過形成症	ガラクトース血症	アミノ酸・有機酸・脂肪酸代謝異常症
再採血	71 (65.74)	99 (91.67)	108 (100)	108 (100)
要再採血	36 (33.33)	8 (7.41)	0	0
(2回目)	要精密検査	1 (0.93)	1 (0.93)	0
再採血	21 (19.44) ※ 1	6 (5.56)	0	0
要再採血	0	0	0	0
(3回目)	要精密検査	14 (12.96)	2 (1.85)	0

※ 1 : 1名3回目受診せず

## 2. 胆道閉鎖症マスキング検査

### ■検査方法

保護者が、乳児1カ月健診時に母子手帳に綴じ込みの便カラーカードへ便色調の番号を記入して提出する。1カ月健診担当医は便色を確認し、便色調番号が「1」「2」「3」の場合は1次スクリーニング陽性と判断し、2次スクリーニングを実施する。さらに必要に応じて3次スクリーニングを実施する。

### ■検査成績

検査人数7,955人のうち、1次スクリーニング陽性者は26人、陽性率0.33%であった(表2)。このうち、21人が2次スクリーニングを受けて18人が異常なしと診断された。3次スクリーニングの対象となった乳児はいなかった(表2)。

### ■実施状況

平成26年度、岩手県に出生届を提出した出生児8,840人のうち、約90%にあたる7,955人が検査を受けた。

表 2 胆道閉鎖症マスキング検査成績 ( )内は%

出生児数	8,840	* 1
検査人数	7,955	(90.0)
1次スクリーニング陽性者	26	(0.33)
2次スクリーニング受検者数	22	(84.6)
2次スクリーニング結果<人数>	・シトリン欠損症<1> ・新生児胆汁うっ滞<1> ・母乳性黄疸<2> ・異常なし<18>	
3次スクリーニング結果<人数>	<0>	

\* 1 岩手県に出生届を提出した人数

## 先天性代謝異常等検査追跡調査結果

精密検査対象者105名(初回採血検査から89名、低出生体重児の2回目採血から16名)について医療機関に診断名等を追跡調査したところ、99名(回答率94.2%)の回答を得た。その結果、先天性甲状腺機能低下症3名(0.03%)、シトリン欠損症1名(0.01%)、グルタル酸血症2型1名(0.01%)が発見された。

診断名	件数	%
先天性甲状腺機能低下症	3	0.03
甲状腺機能低下症	3	0.03
先天性甲状腺機能低下症の疑い	7	0.07
一過性甲状腺機能低下症	11	0.11
一過性甲状腺機能低下症の疑い	2	0.02
潜在性甲状腺機能低下症	2	0.02
一過性高TSH血症	11	0.11
一過性甲状腺機能低下症・未熟性による副腎皮質過形成	1	0.01
母体バセドウ病	2	0.02
3β-水酸化酵素欠損症の疑い	1	0.01
先天性副腎過形成症の疑い	1	0.01
成熟児での一過性17-OHP高値	1	0.01
未熟による一過性17-OHP高値	4	0.04
低出生体重児	5	0.05
ガラクトース血症Ⅲ型(エピメラゼ欠損型)	1	0.01
ガラクトース血症の疑い	1	0.01
一過性ガラクトース血症	1	0.01
シトリン欠損症	1	0.01
グルタル酸血症2型	1	0.01
グルタル酸血症2型の疑い	1	0.01
正常	28	0.28
死亡	1	0.01
メビウス症候群	1	0.01
腹壁破裂	1	0.01
診断名なし	8	0.08
未回答	6	0.06
計	105	1.06

# 健康支援

## 1. 健診の事後措置

### ■集団健診の対応

各団体が主催する事後指導会で、健診の結果説明の依頼を受け対応した。  
平成26年度の依頼数は、41団体、220回であった。

表1 団体内訳

団体	団体数	回数
計	41	220
市町村	2	18
事業所	38	200
学校	1	2

表2 職種・部門別内訳

職種	地域部門	産業部門	学校部門	回
計	18	200	2	
保健師	6	70	2	
管理栄養士	12	37	0	
健康運動指導士	0	0	0	
臨床心理士	0	93	0	

### ■一日人間ドックの対応

診察終了後、保健師・管理栄養士による個別相談を実施した。  
平成26年度実施数は、保健指導3,905人、栄養指導4,130人であった。ミニ栄養講話も実施した。

### ■レディースドックの対応

診察終了後、保健師・管理栄養士による個別相談を実施した。  
平成26年度実施数は79人であった。

### ■専門ドックの対応

受診後日、結果説明来協にあわせて希望者へ、保健師・管理栄養士による個別相談を実施した。  
平成26年度実施数は、保健指導31人、栄養指導3人であった。

### ■労災保険二次健康診断の対応

二次健康診断対象者へ保健指導を実施した。  
平成26年度実施数は312人であった。

## 2. 定期健康相談事業

事業所が職員の健康管理や健康教育のため、外部の専門機関に保健師派遣を委託する。当協会はその受け皿として事業所と委託契約を締結し、保健師を定期的に派遣している。  
平成26年度、3団体へ計36回派遣した。

### 【事業内容】

- ・事業所職員の健康管理、健康教育
- ・日常の健康相談、保健指導
- ・健康診断の事後措置
- ・必要に応じ職場の巡回、環境管理のためのアドバイス、衛生委員会への参加など、産業医、事業主、衛生管理者等と密接な連携のもとに行う。

## 3. 相談員派遣

岩手産業保健推進センターにおける産業保健相談業務（産業衛生工学）の相談員として、平成26年度は8回派遣した。

## 4. 電話相談

当協会で実施している健康診断結果・検査等に関する相談や地域医療機関への情報提供等685件の電話相談に対応した。

表 団体内訳

団体	件数	主な内容
計	685	
市町村	424	結果・検査の意味、受診医療機関の選択
事業所	236	結果・検査の意味、受診医療機関の選択
学校	25	結果・検査の意味、受診医療機関の選択

## 5. 講演会講師派遣

平成26年度の派遣協力は、42団体1,392回であった。

表1 団体内訳

団体	団体数	回数	主なテーマ
計	42	1,392	
市町村	8	88	脳卒中予防、糖尿病予防と運動、自殺予防対策事業
	5	1,161	被災地健康相談事業
事業所	23	135	メタボリックシンドローム予防、ボールエクササイズ
学校	6	8	生活習慣病予防、こころの健康講座

表2 職種別内訳

職種	地域部門	産業部門	学校部門	回
計	1,249	135	8	
保健師	379	34	1	
管理栄養士	201	15	1	
健康運動指導士	70	39	0	
臨床心理士	17	5	6	
労働衛生コンサルタント	0	26	0	
看護師	582	0	0	
その他	0	16	0	

## 6. 特定保健指導

平成26年度の初回面接実施団体は26団体であった。実施人数は、動機付け支援758人、積極的支援1,113人、合わせて1,871人であった。

区 分	初回面接実施人数	
	地域部門	産業部門
計	145	1,726
動 機 付 け 支 援	83	675
積 極 的 支 援	62	1,051

## 7. メンタルヘルス事業

特に職場において需要が高まっているメンタルヘルス事業の一貫として健診時に合わせてストレスチェックを実施している。

団 体	団体数	ストレスチェック件数
事 業 所	46	26,349

## 8. 研修会等開催

健康教育研究会、生活習慣病健診従事者指導講習会を開催した。詳細は次項『諸行事』『研修会等の開催』参照。

## 9. 健康げんき倶楽部

会員制のヘルスサポートシステムで、入会時に健康度評価、血液検査を実施する。その結果を基に一人ひとりにあった健康づくりプランを提案、保健師・管理栄養士・運動指導士が全面的にサポートしている。会員は、トレーニング施設「気良楽（きらら）」の利用が可能である。平成27年3月現在の会員数は321名である。

## 10. 健康講座等の開催

当施設において、健康講座（ココロカラダ ヨロコブ講座）や健康げんき倶楽部の特別企画を実施している。また、見学希望団体（者）に対し見学会などを開催している。

	回数、団体数	人 数	主な内容
健 康 講 座	12	76	運動、栄養、保健、メンタルヘルス
健 康 げ ん き 倶 楽 部 特 別 企 画	4	94	フィットネスボクシング、ヨガ、 らくらくエアロビクス&アクアビクス、
見 学	35	673	健康定食、施設説明、ミニ健康講話

# 結核予防

## 1. 検診事業

部門別事業報告（学校保健・地域保健・産業保健）に記載

## 2. 複十字シール運動の展開

複十字シール運動は結核対策事業資金造成のための募金活動である。当協会では NPO 法人岩手県地域婦人団体協議会と共同で運動を展開

運動期間：平成26年8月1日～12月31日

後 援：岩手県、岩手県議会、岩手県市長会、岩手県市議会議長会、岩手県町村会、岩手県町村議会議長会、岩手県保健所長会、岩手県教育委員会、岩手県 PTA 連合会、岩手県医師会、岩手県歯科医師会、岩手県薬剤師会、岩手県看護協会、岩手県放射線技師会、岩手県臨床衛生検査技師会、JA 岩手県五連（JA 岩手県中央会、JA 岩手県信連、JA 岩手県厚生連、JA 全農いわて、JA 共済連岩手）、岩手県国民健康保険団体連合会、岩手労働基準協会、岩手日報社、I B C 岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、NHK 盛岡放送局、岩手県栄養士会

実 績：大型シール 453枚（ 348枚） \*（ ）内は 25年度実績  
小型シール 12,764枚（ 14,119枚）  
募金総額 2,904,902円（1,918,944円）  
うち岩手県地域婦人団体協議会の実績 1,160,000円（1,184,400円）

## 3. 普及啓発および広報活動

■平成26年度結核予防街頭キャンペーン

日時：平成26年9月24～30日

場所：Big Waffle ギャラリーホール

内容：結核予防週間普及啓発パネル展示

■ポスター・チラシ等の配布

配布場所：市町村、教育委員会、保健所、県立病院、公共施設など

■広報誌の配布

『複十字』（No.356～361）（公益財団法人結核予防会発行）隔月 400部

『健康の輪』（全国結核予防婦人団体連絡協議会発行）年3回110部

## 4. 国際研修

〔開催日、開催地、参加人数〕

■「平成26年度 MDGs 達成及び結核征圧に向けた結核対策強化コース」の受入れ

〔平成26年7月8～11日、研修生18人〕

・岩手県予防医学協会訪問 – 事業説明及び施設見学 –

「協会設立からの変遷」 公益財団法人岩手県予防医学協会

理事・事務局長 岩 城 勝 典

「地域婦人団体協議会の活動説明」 NPO法人岩手県地域婦人団体協議会

会長 瀬 川 愛 子

・歓迎レセプション（ホテルロイヤル盛岡）

・岩手県訪問（エスポワールいわて）

「岩手県の結核」 岩手県保健福祉部医療政策室

感染症担当課長 高 橋 孝 嗣

- ・国立病院機構盛岡病院訪問  
「病院紹介及び当院における結核診療の現状」 独立行政法人国立病院機構盛岡病院  
院長 菊池喜博
  - 「外来診療の実際－看護の視点で－」 独立行政法人国立病院機構盛岡病院  
看護師長 守屋かおり
  - ・宮古市及び山田町訪問 – 宮古市住民健診の見学（ふらっとびあ宮古） –  
「山田町の健康づくりと結核予防活動」 山田町健康福祉課検診推進係  
係長 濱登新子
  - ・盛岡市保健所訪問  
「盛岡市保健所の結核対策業務について」 盛岡市保健予防課  
主任保健師 赤坂寛子
- その他事業について、各課担当者より説明

## 5. 各種会議、研修事業へ参加

### 〔開催日、開催地、参加人数〕

- 結核対策とX線画像コース [平成26年6月10～13日、清瀬市、1人]
- ネットワーク事務連絡会議 [平成26年7月18日、東京都、2人]
- 東北・北海道ブロック会議 [平成26年10月2日、青森市、4人]
- 事業協議会管理職研修会 [平成26年11月5～7日、東京都、1人]
- 東北地区結核予防婦人団体幹部研修会 [平成26年11月13～14日、天童市、3人]
- 胸部画像精度管理研究会 [平成26年12月18～19日、清瀬市、1人]
- 第34回事務職員セミナー [平成27年1月13～15日、東京都、1人]
- 結核予防会マンモグラフィ講習会 [平成27年2月20～22日、清瀬市、1人]
- 結核予防全国大会 [平成27年2月26～27日、福岡市、2人]
- 診療放射線技師研修会 [平成27年3月12～14日、東京都、2人]
- 事業協議会研修会・全国支部事務連絡会議 [平成27年3月19～20日、東京都、1人]
- 本部主催の各種委員会・会議等

# 諸行事

## 1. 評議員会、理事会、定期監査等の開催

〔開催日〕

### (1) 評議員会

#### ■第1回評議員会

平成26年6月12日

- ・理事の辞任並びに会長（代表理事）・専務理事（業務執行理事）の辞任について報告された。
- ・書面による評議員会決議について報告された。
- ・評議員の辞任及び就任について報告された。
- ・平成25年度事業報告について原案どおり決議された。
- ・平成25年度収支決算報告について原案どおり決議された。
- ・平成26年度第1回定期監査について報告された。
- ・任期満了に伴う理事及び監事の選任について原案どおり決議された。
- ・前会長への功労金の支給について原案どおり決議された。

### (2) 理事会

#### ■書面による理事会

平成26年4月1日

- ・会長（代表理事）の選定について決議された。

#### ■第1回理事会

平成26年5月27日

- ・書面による理事会決議について報告された。
- ・評議員の辞任について報告された。
- ・平成25年度事業報告について原案どおり決議された。
- ・平成25年度収支決算報告について原案どおり決議された。
- ・平成26年度第1回定期監査について報告された。
- ・理事の職務執行状況について報告された。
- ・評議員候補者の推薦について原案どおり決議された。
- ・第1回評議員会の招集及び提出議案について原案どおり決議された。
- ・任期満了に伴う評議員選定委員の選任について原案どおり決議された。
- ・名誉会長の選任について原案どおり決議された。

#### ■第2回理事会

平成26年6月12日

- ・理事・監事の選任について報告された。
- ・会長・専務理事・常務理事の選定について決議された。

#### ■書面による理事会

平成26年9月17日

- ・評議員候補者の推薦について決議された。

#### ■第3回理事会

平成27年3月16日

- ・書面による理事会決議について報告された。
- ・理事の職務執行状況について報告された。
- ・平成26年度上半期監査報告について報告された。
- ・平成26年度収支補正予算について原案どおり決議された。
- ・平成27年度事業計画について原案どおり決議された。
- ・平成27年度収支予算について原案どおり決議された。
- ・平成27年度定時評議員会の開催について原案どおり決議された。

- (3) 定期監査
- 第1回定期監査 平成26年5月19日
    - ・平成25年度事業報告について適正と認められた。
    - ・平成25年度決算報告について適正と認められた。
    - ・理事の職務執行状況について適正と認められた。
  - 第2回定期監査 平成26年11月20日
    - ・平成26年度上半期事業報告について適正と認められた。
    - ・平成26年度上半期収支状況について適正と認められた。
    - ・理事の職務執行状況報告について適正と認められた。

- (4) 評議員選定委員会
- 第1回評議員選定委員会 平成26年6月3日
    - ・評議員の選任について審議、決議された。
  - 第2回評議員選定委員会 平成26年9月22日
    - ・評議員の選任について審議、決議された。

## 2. 学術専門委員会、小委員会の開催 〔開催日〕

- (1) 学術専門委員会
- 眼底検診専門委員会 平成26年4月10日
  - 乳がん検診専門委員会 平成26年4月15日
  - 先天性代謝異常検査等専門委員会 平成26年4月23日
  - 学校保健専門委員会 平成26年7月31日
  - ウイルス肝炎対策専門委員会 平成26年9月27日
  - 循環器系検診専門委員会 平成26年11月18日
  - 学校保健専門委員会 平成27年3月5日
  - 呼吸器系検診専門委員会 平成27年3月9日
  - 先天性代謝異常検査等専門委員会 平成27年3月10日
  - 脊柱側弯検診専門委員会 平成27年3月13日
  - 乳がん検診専門委員会 平成27年3月17日
- (2) 小委員会
- 脳ドック小委員会 平成26年10月24日
  - 心臓検診小委員会 平成27年3月5日
  - C R 検診小委員会 平成27年3月9日
  - C T 検診小委員会 平成27年3月9日

## 3. 関係機関担当者会議の開催 〔開催日、開催地、参加人数〕

- (1) 学校保健関係
- 平成26年度学校保健連絡会議 [平成26年12月5日、Big Waffle、110人]
    - 報告事項：平成25年度学校保健分野健診・検査実施状況
    - 協議事項：平成27年度学校保健事業計画骨子（案）  
平成26年度検査・健診申込状況
    - 講演：「小児生活習慣病予防健診における最近のトピックス」  
講師 日本大学医学部小児科客員教授  
神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科  
特任教授 岡田知雄
- (2) 地域保健関係
- 平成26年度市町村健康推進担当部課長会議 [平成26年11月12日、盛岡市、44人]
    - 行政報告：「健康いわて21プラン（第2次）について」  
岩手県保健福祉部健康国保課  
主任主査 山内健幸
    - 「岩手県における感染症対策の概要」  
岩手県保健福祉部医療政策室  
主任主査 平藤互
    - 「花巻市の特定健診・特定保健指導の取り組み」  
花巻市健康福祉部健康づくり課  
主査 久保田和子
    - 事業報告：平成25年度健診・検査実施状況  
平成25年度住民健診有所見率  
平成26年度健診・検査実施及び予約状況  
平成27年度地域保健事業計画骨子（案）  
変更事項について
    - 事業説明：新施設の概要及び精密検査外来について  
平成27年度に向けたご提案 ～推算糸球ろ過量と結果個人票～
    - 講演：「食事や栄養・保健指導から考える脳血管疾患予防」  
講師 大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座  
公衆栄養学 教授 由田克士
  - 平成26年度保健活動検討会 [平成27年3月2日、Big Waffle、68人]
    - 行政報告：「脳卒中死亡率ワースト1からの脱却に向けた取組について」  
岩手県保健福祉部健康国保課  
健康予防担当課長 佐藤朝則
    - 「ウイルス性肝炎対策について」  
岩手県保健福祉部医療政策室  
感染症担当主査 赤岩正昭
    - 事業説明：新規事業 ～精密検査外来とCococaの紹介～  
地域で子どもたちを健康に
    - 報告事項：平成25年度健診結果・追跡調査結果  
平成26年度健診・検査実施状況  
平成27年度地域保健事業計画骨子  
変更事項について
    - 講演：「ヘルスコミュニケーション 特定健診・特定保健指導の受診者を  
確保するためにおさえておきたいポイントとは」  
講師 株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ  
代表取締役 蝦名玲子

(3) 産業保健関係

■第3回産業保健「健康支援セミナー」 [平成27年2月9日、Big Waffle、129人]  
 行政報告：「労働衛生の動向」  
 講師 岩手労働局労働基準部  
 健康安全課長 安倍 賢  
 報告事項：健診結果報告（平成25年度健診結果・平成24年度追跡調査結果）  
 健診結果の見方とその対応  
 精密検査外来のご紹介  
 大腸がん検診について  
 講演：「職場のメンタルヘルスに活かすコミュニケーション」  
 講師 PHP 認定上級ビジネスコーチ 平野 順子

講師 岩手県立中部病院 副院長 三浦 達也  
 「岩手県における肝炎対策・診療ネットワークシステム」  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 消化器内科肝臓分野非常勤講師、あべ菜園内科  
 院長 阿部 弘一  
 「岩手県における肝炎対策、医療費助成制度」  
 講師 岩手県保健福祉部医療政策室  
 感染症担当 赤岩 正昭  
 「B型肝炎の知識」  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 消化器内科肝臓分野  
 助教 吉田 雄一

4. 研修会・講演会・健康講座等の開催 [開催日、開催地、参加人数]

■第30回健康教育研究会 [平成26年8月21日、Big Waffle、15人]  
 内容：「ロコモティブシンドローム・転倒予防について」  
 講師 菅整形外科皮膚科クリニック  
 院長 菅 栄一  
 実技 湯の里にのへ 主任作業療法士 大畑 研

「肝疾患患者に対する支援方法」  
 講師 岩手医科大学附属病院  
 看護副部長 三浦 幸枝  
 「肝疾患アドバイザーの役割」  
 講師 紫波町長寿健康課  
 保健師 佐々木 雅恵

■生活習慣病検診等従事者指導講習会 [平成27年2月3日、Big Waffle、39人]  
 講義：「知っておきたい循環器疾患の話」  
 講師 公益財団法人岩手県予防医学協会  
 循環器科部長 田巻 健治  
 実習：「頸動脈超音波検査の基本」  
 公益財団法人岩手県予防医学協会  
 医療技術部次長（兼）生理機能検査課長 腰山 誠

■岩手県肝疾患診療ネットワーク研修会 [平成26年9月27日、盛岡市、78人]  
 一般講演：「岩手県における医療費助成制度の現状」  
 講師 岩手県保健福祉部医療政策室  
 感染症担当 赤岩 正昭  
 「肝炎治療成績とこれからの取り組み」  
 岩手医科大学医学部内科学講座  
 消化器内科肝臓分野助教 吉田 雄一  
 特別講演：「C型慢性肝炎の治療 - 私たちが目指すべきもの -」  
 講師 東京大学大学院医学系研究科  
 生体防御感染症学准教授 四柳 宏

■平成26年度地域肝疾患アドバイザー養成研修会 [平成26年11月2日、Big Waffle、57人]  
 講義：「B型肝炎の知識」  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 消化器内科肝臓分野助教 吉田 雄一  
 「C型肝炎の知識」  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 消化器内科肝臓分野講師 宮坂 昭生  
 「岩手県のHBV・HCVキャリアの実態」  
 講師 公益財団法人岩手県予防医学協会医療技術部  
 臨床検査課長 佐々木 純子  
 「アルコールや薬物と肝臓との関わり」  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 消化器内科肝臓分野助教 柿坂 啓介  
 「肝機能検査を読み解く」  
 講師 岩手医科大学内科学講座  
 消化器内科肝臓分野准教授 遠藤 龍人  
 「画像検査で肝臓を知る」  
 講師 岩手医科大学内科学講座  
 消化器内科肝臓分野講師 黒田 英克  
 「肝疾患の外科治療」  
 講師 岩手医科大学医学部内科外科学講座  
 助教 高原 武志  
 「慢性肝疾患」

■心電図講習会  
 「知りたかった！心疾患の心電図の読み方のポイントとコツ - 波形編 -」  
 [平成26年10月30日、Big Waffle、80人]  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 心血管・腎・内分泌内科分野准教授 小松 隆  
 「知りたかった！心疾患の心電図の読み方のポイントとコツ - 不整脈編 -」  
 [平成26年11月27日、Big Waffle、70人]  
 講師 岩手医科大学医学部内科学講座  
 心血管・腎・内分泌内科分野准教授 小松 隆  
 ■第19回医用超音波基礎講習会 [平成27年1月10日、Big Waffle、30人]  
 講師 東芝メディカルシステムズ株式会社  
 浜田 聡明

■健康講座・健康教室等 場所 Big Waffle  
 フィットネスボクシング体験講座① [平成26年6月19日、20人]  
 バランスボールの使い方① [平成26年6月25日、7人]  
 フィットネスボクシング体験講座② [平成26年6月26日、34人]  
 ランチで学ぶ栄養学 [平成26年7月23日、8人]

初心者のための水中ウォーキング①	[平成26年 8月27日、 4人]
らくらくエアロビクス&アクアビクス体験講座	[平成26年 8月28日、12人]
こどものいのちと心の健康をサポートする	[平成26年 9月19日、 4人]
楽ラク健康づくり講座①	[平成26年 9月24日、10人]
ストレスと上手につきあう（リラクゼーション体験）	[平成26年10月17日、 2人]
ストレッチングで腰痛・肩こり予防	[平成26年10月22日、11人]
やさしいメンタルヘルス（コラージュ療法）	[平成26年11月26日、 7人]
リラクゼーション体験（ハーブ）	[平成26年12月 6日、 9人]
リラクゼーション体験（ハーブ）	[平成26年12月10日、13人]
バランスボールの使い方②	[平成26年12月24日、13人]
リラクゼーション体験（ハーブ）	[平成27年 1月 5日、10人]
スクールカウンセラーを活用するために	[平成27年 1月16日、 2人]
デザートで学ぶ栄養学	[平成27年 1月28日、 9人]
ヨガ体験講座	[平成27年 1月29日、30人]
初心者のための水中ウォーキング②	[平成27年 2月25日、 3人]
楽ラク健康づくり講座②	[平成27年 3月25日、 4人]

■展示等	場所 Big Waffle
展示会『木の水族館』	[平成26年 5月21日～6月13日]
銅版画展『版の花』	[平成26年 7月14日～8月8日]
絵画展示『17才の自画像』	[平成26年 9月16日～30日]
彫刻展示『岩手大学アートフォーラム作品』	[平成26年 9月22日～平成27年 3月31日]
展示会『動物マイル』	[平成26年10月 1日～31日]
展示会『成田玄治個展』	[平成26年12月 1日～平成27年 1月29日]
展示会『るんびにい美術館作品展』	[平成27年 2月 2日～27日]
展示会『木版画展』	[平成27年 3月 2日～31日]

## 5. 職員研修

(1) 内部研修会の実施	
交通安全講習会（新人職員、新採用臨時職員）	[1回、 26人]
安全運転講習会（県南センターにて）	[2回、157人]
平成26年度新人職員事前研修会	[1回、 41人]
職員研究発表会	[1回、100人]
職員全体研修会（個人情報保護教育、衛生教育含む）	[1回、504人]
若手役職者スキルアップ研修会	[6回、 42人]
職員研修『将来を担うためのミッションセミナー』	[1回、 43人]
消防研修	[1回、248人]

### (2) 外部研修会へ参加

■主催別内訳	
公益財団法人予防医学事業中央会関係研修会	[7回、 34人]
公益財団法人結核予防会関係研修会	[11回、 18人]
公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係研修会	[8回、 17人]
公益社団法人日本作業環境測定協会関係研修会	[3回、 4人]
その他	[134回、198人]

■職種別内訳	
医師関係	[28回、 34人]
保健師関係	[10回、 14人]
臨床検査技師関係	[42回、 50人]
放射線技師関係	[20回、 28人]
作業環境測定士関係	[6回、 7人]
看護師関係	[9回、 12人]
栄養士関係	[3回、 3人]
運動指導士関係	[2回、 2人]
事務関係	[67回、121人]

## 6. 研究発表等

〔開催日、開催地〕

■公益社団法人日本作業環境測定協会東北支部岩手県分会設立20周年記念事業研修会	[平成26年 8月30日、盛岡市]
「鋳物工場におけるたい積粉じんの採取場所による遊離けい酸含有率の差異について」	石母田 功
「作業環境測定と特殊健康診断の連携に向けて」	足立 正行
■第24回日本乳癌検診学会学術集会総会	[平成26年11月7～8日、前橋市]
「乳房超音波検診で多発線維腺腫と判定された中間期乳癌の一例」	三浦 由美
■第3回日本臨床衛生技師会北日本支部医学検査学会	[平成26年11月22～23日、盛岡市]
「潜在するCOPD罹患者の発掘にむけて」	高橋 ゆかり
「腹部超音波検査の精度向上への取組み」	北田 悠衣
■第15回岩手県診療放射線技師会学術大会	[平成26年11月30日、盛岡市]
「低線量胸部CT検査に関する撮影条件の検討」	立花 優
「技師読影補助の現状と改善点」	牛間木 政志
■第49回予防医学技術研究会議	[平成27年2月26～27日、那覇市]
「心臓超音波検査への取組み - 成人の健康診断と学校心臓検診の心エコー - 」	腰山 誠
「高齢者の心房細動は増加している」	腰山 誠
「岩手県の糖尿病網膜症の現状 - 眼底検査からの報告 - 」	山田 毅彦
「低線量胸部CT検査に関する撮影条件の検討」	女鹿 隆徳
「大腸がん早期発見のために検体2本提出が有効」	工藤 友紀乃
■日本消化器がん検診学会東北支部超音波検診委員会第10回東北セミナー〔平成27年3月7日、仙台市〕	
「腹部超音波スクリーニングにて描出し得た食道癌の一例」	半田 有希

## 7. 調査研究事業

いわて東北メディカル・メガバンク地域住民コホート  
 東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査  
 岩手県北地域コホート研究  
 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業  
 (J-start: 乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究)  
 厚生労働省肝炎等克服緊急対策研究事業  
 (肝炎ウイルス感染状況・長期予後と予後調査および治療導入対策に関する研究)

## 8. 広報活動

機関誌の発行	
『健康いわて』第276号～第280号	隔月 3,000部
『事業年報2015（平成25年度報告）』vol.43	1,800部
研究報告輯（第15号）の発行	1,000部
テレビ番組提供	1回／週
ホームページの更新	随時

## 9. 新施設関係

Big Waffle グランドオープンイベント	[平成26年4月5日 来場者1,235名]
幼老統合施設 Cocoa 新築工事起工式	[平成26年8月28日]
幼老統合施設 Cocoa 竣工式・竣工祝賀会	[平成27年3月21日]
新施設 Cocoa オープン& Big Waffle 1周年一般公開イベント	[平成27年3月29日 来場者532名]

## 10. 各種表彰の受賞

- 公益財団法人予防医学事業中央会関係
  - 奨励賞 [平成26年10月16日、平成26年度予防医学事業推進全国大会にて]  
受賞者：健康推進部健康推進課 係長 小笠原悦子
  - 学術賞（児玉賞） [平成27年2月26日、第49回予防医学技術研究会にて]  
受賞者：医療技術部臨床検査課 主任 川端寿行
- 公益社団法人全国労働衛生団体連合会関係
  - 功績賞 [平成26年11月19日、平成26年度全衛連運営研究協議会にて]  
受賞者：医療技術部長 太田睦子
  - 奨励賞 [平成26年11月19日、平成26年度全衛連運営研究協議会にて]  
受賞者：企画管理部総合企画課 係長 城内圭司
- その他の団体関係
  - 優良運転者 [平成26年7月2日、紫波地区安全運転管理者部会総会にて]  
受賞者：健康推進部健康推進課 主任 阿部妙子

## 11. 予防医学事業中央会にかかわる事業

[開催日、開催地、参加人数]

- 各種会議・研修会等へ参加
  - 全国運営会議 [平成26年5月29日、東京都、2人]
  - 平成26年度全国情報統計研修会 [平成26年8月28～29日、千葉市、3人]
  - 平成26年度予防医学事業推進東北ブロック会議 [平成26年10月3日、青森市、4人]
  - 平成26年度予防医学事業推進全国大会 [平成26年10月17日、水戸市、3人]
  - 予防医学事業中央会医師協議会 [平成27年1月30～31日、Big Waffle ほか、33人]  
内 容：食育事業「食楽良」体験  
組織概要説明「死中活あり」  
Big Waffle 施設見学  
講 演：「人間ドック学会・新基準範囲値の考え方について」  
講師 公益財団法人予防医学事業中央会  
理事長 河 合 忠

「集団から個へ - 集団検診のパラダイムシフト

R-A方式による肺がん検診精密検査外来 - 」

講師	公益財団法人岩手県予防医学協会 専務理事・呼吸器科部長 武 内 健 一
座長	公益財団法人東京都予防医学協会 理事・健康支援センター長 小 野 良 樹

- 平成26年度全国業務研修会 [平成27年2月12～13日、鹿児島市、2人]
- 平成26年度予防医学技術研究会議 [平成27年2月25～27日、那覇市、7人]
- 本部主催の各種委員会・会議等

## 12. 結核予防会にかかわる事業（再掲）

- 複十字シール運動の展開  
NPO法人岩手県地域婦人団体協議会と共同で運動を実施 [平成26年8月1日～12月31日]
- 普及啓発  
結核予防週間におけるキャンペーン、新聞広告掲載、市町村健康まつりへの協力  
ポスター・チラシ等の配布、パネル展示
- 広報誌の配布  
『複十字』（No.356～361）（公益財団法人結核予防会発行） 隔月400部  
『健康の輪』（全国結核予防婦人団体連絡協議会発行） 年3回110部
- 国際研修  
「平成26年度 MDGs 達成及び結核征圧に向けた結核対策強化コース」の受入れ  
[平成26年7月8～11日、研修生18人]
- 各種会議、研修事業
  - 結核対策とX線画像コース [平成26年6月10～13日、清瀬市、1人]
  - ネットワーク事務連絡会議 [平成26年7月18日、東京都、2人]
  - 東北・北海道ブロック会議 [平成26年10月2日、青森市、4人]
  - 事業協議会管理職研修会 [平成26年11月5～7日、東京都、1人]
  - 東北地区結核予防婦人団体幹部研修会 [平成26年11月13～14日、天童市、3人]
  - 胸部画像精度管理研究会 [平成26年12月18～19日、清瀬市、1人]
  - 第34回事務職員セミナー [平成27年1月13～15日、東京都、1人]
  - 結核予防会マンモグラフィ講習会 [平成27年2月20～22日、清瀬市、1人]
  - 結核予防全国大会 [平成27年2月26～27日、福岡市、2人]
  - 診療放射線技師研修会 [平成27年3月12～14日、東京都、2人]
  - 事業協議会研修会・全国支部事務連絡会議 [平成27年3月19～20日、東京都、1人]
  - 本部主催の各種委員会・会議等

## 協会概要

組織概要

組織図

職員構成

役員・専門委員等名簿

施設概要

機器整備

精度管理実施状況

許可、認可等

全国組織とのかかわり

付属診療所

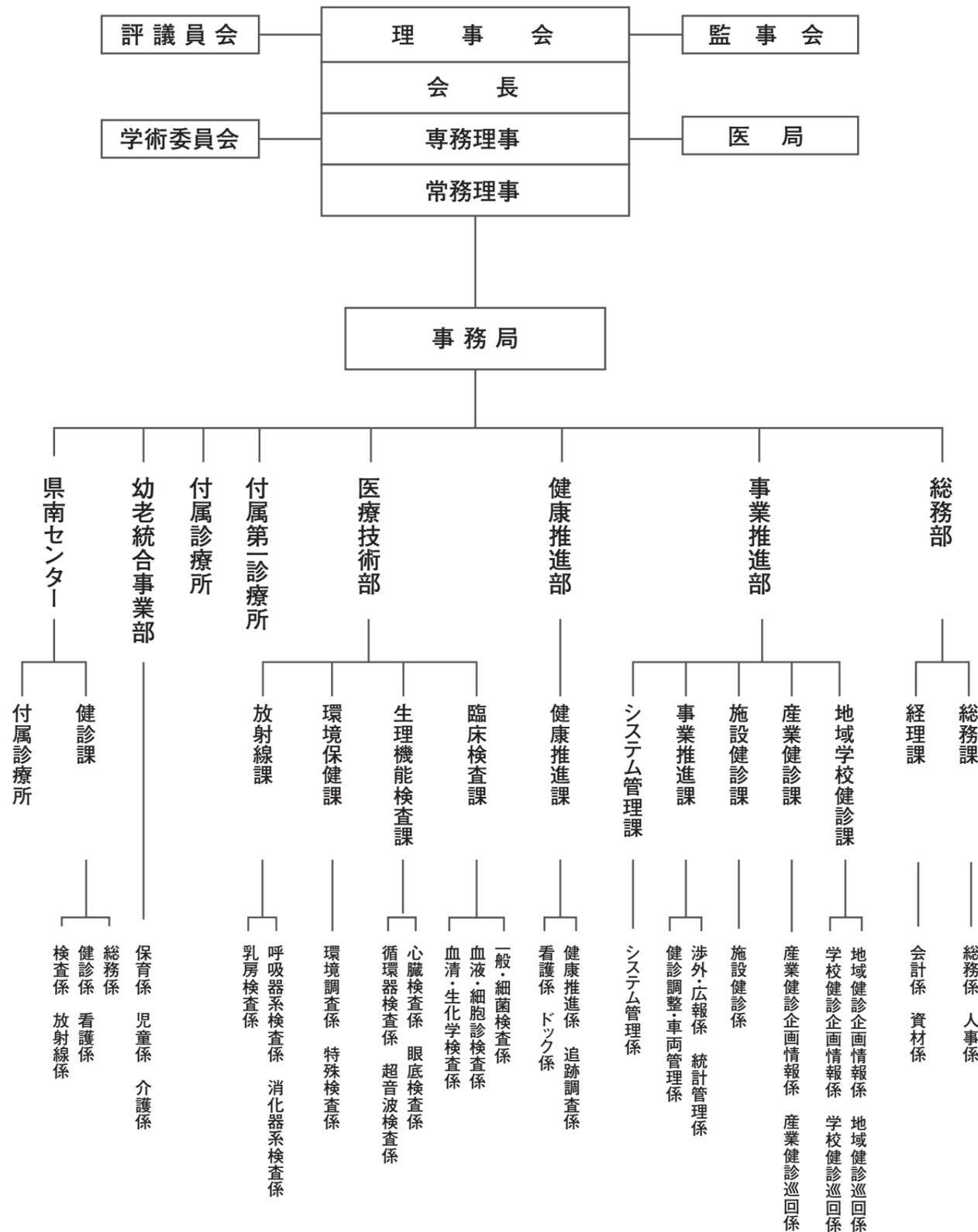
# 協会概要

## 1. 組織概要

- **名 称** 公益財団法人岩手県予防医学協会
- **所在地** Big Waffle : 〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号  
TEL 019-638-7185(代) FAX 019-637-1278  
県南センター : 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根前野209-1  
TEL 0197-44-5711(代) FAX 0197-44-4853  
Cocoa : 〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番45号  
TEL 019-614-0800 (保育園)  
019-614-0820 (児童クラブ)  
019-614-0830 (デイサービス)  
FAX 019-614-0801 (保育園)  
019-614-0831 (児童クラブ・デイサービス)
- **設 立** 1970 (昭和45) 年10月1日
- **沿 革**
- |               |   |
|---------------|---|
| 1970 (昭和45) 年 | 任意団体岩手県予防医学協会として発足  |
| 1971 (昭和46) 年 | 岩手県知事から財団法人として許可を受ける<br>財団法人日本寄生虫予防協会および財団法人予防医学事業中央会岩手県支部となる<br>農村巡回検診 (貧血検査) を開始          |
| 1972 (昭和47) 年 | 県内初の検診車によるセット式循環器系検診を開始<br>旧済生会病院 (盛岡市清水町) へ移転<br>(社)全国労働衛生団体連合会会員となる<br>循環器系検診車「あおぎり1号」を整備 |
| 1973 (昭和48) 年 | 岩手県より登録衛生検査所として認可を受ける   |
| 1977 (昭和52) 年 | 巡回多項目検診、結核検診、一般健康診断、じん肺検診を開始  |
| 1978 (昭和53) 年 | 岩手労働基準局から作業環境測定機関として認可を受ける  |
| 1979 (昭和54) 年 | 各種学術専門委員会を設置  |
| 1980 (昭和55) 年 | 施設を農村管理センター (盛岡市永井) へ移転し、一日人間ドックを開始   |
| 1983 (昭和58) 年 | 政府管掌健康保険成人病予防健診の指定機関となる   |
| 1986 (昭和61) 年 | 健康教育事業を本格的に開始<br>事業所巡回胃部検診を開始<br>水沢市に県南支所を開設  |
| 1988 (昭和63) 年 | 学童成人病健診を開始  |
| 1990 (平成2) 年  | THP事業を本格的に開始  |
| 1993 (平成5) 年  | 県南支所を金ヶ崎町へ移転し、名称を県南センターとする  |
| 1994 (平成6) 年  | 骨粗鬆症予防検診を本格的に開始   |
| 1996 (平成8) 年  | 世界で初めてCRシステムを搭載した胸部検診車を整備   |
| 1997 (平成9) 年  | 結核予防会岩手支部と統合  |
| 1998 (平成10) 年 | 乳がん検診にマンモグラフィ導入   |
| 2004 (平成16) 年 | 人間ドックセンターを開設し、シニアドック・レディースドックを開始  |
| 2005 (平成17) 年 | 歯周病検診を全国に先駆けて開始<br>個人情報保護法の制定をうけ、方針を制定  |
| 2006 (平成18) 年 | 一日人間ドック健康づくりサポートの一環として卒煙サポートを開設<br>禁煙外来開設<br>介護予防のための生活機能評価を実施                              |
| 2007 (平成19) 年 | 人事理念制定  |
| 2008 (平成20) 年 | 特定健康診査・特定保健指導開始<br>日本人間ドック学会より施設機能評価認定を受ける  |
| 2010 (平成22) 年 | メンタルヘルス事業の開始  |
| 2011 (平成23) 年 | 東日本大震災発生 (3.11) により被災地での健康支援開始  |
| 2012 (平成24) 年 | 公益財団法人として認定を受ける<br>プライバシーマークの付与認定を受ける   |
| 2013 (平成25) 年 | 盛岡市北飯岡に新施設を建築し、移転   |
| 2014 (平成26) 年 | 新しい人間ドック (3つのコース)、精密検査外来を開始   |
| 2015 (平成27) 年 | 盛岡市北飯岡の敷地内に幼老統合施設Cocoaを建築し、保育・学童・<br>デイサービス事業を開始  |

2. 組織図

平成28年2月現在



3. 職員構成

平成27年12月現在

(1) 部署別職員数

■本所

区分	人数
専務理事	1
常務理事	1
医局	10
理事・事務局長	1
総務部	
部長(兼経理課長)	1
次長(兼総務課長)	1
総務課	8
経理課	6
事業推進部	
部長	1
次長(兼事業推進課長)	1
運行管理担当課長	1
地域学校健診課	27
産業健診課	37
施設健診課	13
事業推進課	12
システム管理課	4
健康推進部	
部長(兼健康推進課長)	1
健康推進課	58
医療技術部	
部長(兼環境保健課長)	1
次長(兼生理機能検査課長)	1
〃(兼放射線課長)	1
臨床検査課	23
生理機能検査課	47
環境保健課	9
放射線課	25
幼老統合事業部	
部長	1
	17
計	309 (男 129・女 180)

■県南センター

区分	人数
県南センター長(兼事業推進部健診日程調整担当課長)	1
次長(兼健診課長)	1
医局	3
健診課	26
計	31 (男 20・女 11)
合計	340 (男 149・女 191)

(2) 有資格者

区分	人数
医師	14
保健師	20
看護師	55
准看護師	9
管理栄養士	8
臨床検査技師	82
衛生検査技師	7
診療放射線技師	32
胃がん検診専門技師	16
マンモグラフィ撮影認定技師	6
肺がんCT検診認定技師	1
超音波検査士	19
日本マスキリーニング学会認定技術者	1

区分	人数
労働衛生コンサルタント(衛生工学)	1
第1種作業環境測定士	6
第2種作業環境測定士	2
健康運導指導士	6
細胞検査士	6
第1種衛生管理者	25
第2種衛生管理者	1
選別聴力検査	104
薬剤師	1
保育士	11
介護福祉士	2
生活相談員(社会福祉主事任用)	2
臨床心理士	1

4. 役員・学術委員等名簿

平成28年2月現在 役員氏名 五十音順

評議員	五日市 治	岩手県保健福祉部健康国保課総括課長	
	及川 朗	岩手県環境保健研究センター副所長	
	加藤 裕一	株式会社岩手銀行常務取締役	
	鎌田 英樹	株式会社アイピーシー岩手放送代表取締役社長	
	瀬川 愛子	特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会長	
	大黒 英貴	一般社団法人岩手県歯科医師会専務理事	
	高橋 弘美	J A岩手県女性組織協議会長	
	戸澤 勝弘	公益財団法人岩手労働基準協会専務理事	
	野原 勝	岩手県保健福祉部医療政策室長	
	畑澤 博巳	一般社団法人岩手県薬剤師会長	
	細川 修一	岩手県厚生農業協同組合連合会常務理事	
	望月 泉	岩手県立中央病院長	
	八木 浩之	岩手県教育委員会スポーツ健康課総括課長	
	和田 利彦	一般社団法人盛岡市医師会長	
	会長	石川 育成	一般社団法人岩手県医師会長
	専務理事 常務理事	武内 健一	公益財団法人岩手県予防医学協会呼吸器科部長
十和田 紳一		公益財団法人岩手県予防医学協会	
理事	岩動 孝	一般社団法人岩手県医師会副会長	
	岩城 勝典	公益財団法人岩手県予防医学協会事務局長	
	江原 茂	岩手医科大学医学部放射線医学講座教授	
	坂田 清美	岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座教授	
	佐々木 信	岩手県保健福祉部長	
	田沼 征彦	岩手県農業協同組合中央会長	
	中村 元行	岩手医科大学医学部内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野教授	
	畑山 尚三	畑山法律事務所長	
	山添 勝寛	株式会社岩手日報社専務取締役	
監事	工藤 善規	工藤善規税理士事務所長	
	佐藤 誠之	一般社団法人岩手県医師会監事	
	松下 壽夫	松下壽夫法律事務所長	

■公益財団法人岩手県予防医学協会 学術委員会委員名簿

平成28年2月現在 氏名 五十音順

1. 呼吸器系検診専門委員会

小川 純一	社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院副院長・医療安全管理室長
勝又 宇一郎	岩手県立胆沢病院長
小西 一樹	社団法人医療法人盛岡繋温泉病院理事長
佐々木 康夫	岩手県立中央病院副院長・中央放射線部長
武内 健一	公益財団法人岩手県予防医学協会専務理事・呼吸器科部長
似内 郊雄	医療法人中庸会花巻市石鳥谷医療センター院長
毛利 孝	岩手県立中部病院第1呼吸器内科長
守 義明	岩手県立中央病院中央検査部次長
山内 広平	岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野教授

■胸部読影専門部会

石川 浩	いしかわ内科クリニック院長
宇部 健治	岩手県立中央病院呼吸器科診療科長・副呼吸器センター長
及川 茂夫	岩手県立中央病院放射線診断科診療科長
大浦 裕之	岩手県立中央病院呼吸器外科長
大島 俊克	総合花巻病院理事長
久保田 公宜	医療法人千藤了会久保田医院理事長
小西 一樹	特定医療法人盛岡繋温泉病院理事長
小林 研	岩手県立一戸病院
小林 仁	医療法人杉の子会須藤内科クリニック
佐々木 直	盛岡市立病院
佐々木 康夫	岩手県立中央病院副院長（兼）中央放射線部長
須藤 守夫	医療法人杉の子会須藤内科クリニック院長
高杉 良吉	岩手県立胆沢病院名誉院長
田澤 稔	元公益財団法人岩手県予防医学協会呼吸器部長
千葉 裕子	岩手県立中央病院放射線診断科
中村 正人	岩手県立胆沢病院放射線科長
坂東 武志	坂東内科クリニック院長
藤井 祐次	医療法人友愛会盛岡友愛病院呼吸器外科・内科
松岡 昭治	（元）岩手県立中央病院副院長
水城 まさみ	独立行政法人国立病院機構盛岡病院副院長
水野 恵子	岩手県立中央病院放射線診断科
守 義明	岩手県立中央病院中央検査部次長
吉田 順子	医療法人友愛会盛岡友愛病院呼吸器内科

2. 消化器系検診専門委員会

池田 富好	医療法人誠心会真山池田医院長
池端 敦	岩手県立中央病院消化器科医療研修部次長・消化器センター長・診療科長

石川 洋子 医療法人共生会松園第二病院長・消化器科長  
 佐藤 治 ※胃部読影専門部会（医療法人さとう胃腸科内科院長）  
 小豆嶋 正和 医療法人慶友会小豆嶋胃腸科内科クリニック院長  
 松本 主之 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野教授

■胃部読影専門部会

池田 富好 医療法人誠心会真山池田医院長  
 江村 洋弘 江村胃腸科内科医院長  
 遠藤 昌樹 開運橋消化器内科クリニック  
 大屋 敬一郎 大屋内科胃腸科クリニック院長  
 岡田 健男 岡田消化器科内科医院長  
 小野 満 岩手県立中央病院附属紫波地域診療センター長  
 小野寺 清哉 胃腸クリニック院長  
 萱場 尚一 岩手県立胆沢病院消化器科長  
 工藤 俊雄 医療法人遠山病院  
 黒澤 照男 松園中央クリニック院長  
 小坂 陽一 医療法人七星会小坂内科消化器科クリニック院長  
 佐藤 治 医療法人さとう胃腸科内科院長  
 佐藤 邦夫 医療法人七藤会もりおか胃腸科内科クリニック院長  
 佐藤 清紀 さとう内科クリニック院長  
 佐藤 正伸 医療法人幸仁会佐藤胃腸科内科医院長  
 鈴木 恒男 大通胃腸科内科院長  
 鈴木 昇 緑ヶ丘消化器内科医院長  
 寺崎 公二 医療法人社団寺崎内科胃腸科医院長  
 栃内 秀貴 栃内内科医院長  
 長澤 茂 医療法人三秋会一関中央クリニック院長  
 中村 義明 中村内科医院長  
 本田 健一 本田胃腸科内科外科院長  
 村松 親 むらまつクリニック院長  
 山岡 豊 医療法人社団山岡胃腸科内科医院長  
 吉田 俊巳 医療法人緑明会吉田消化器科内科院長

3. 生活習慣病健診等専門委員会

石垣 泰 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝内科分野教授  
 川村 実 岩手県立中央病院副院長・総合診療科長  
 關 博文 ※脳検査専門部会長（特定医療法人盛岡繋温泉病院長）  
 滝川 康裕 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科肝臓分野教授  
 谷藤 泰寛 ※眼底検査専門部会長（医療法人泰明会谷藤眼科医院長）

■循環器検査専門部会

石川 健 医療法人石川内科循環器クリニック院長  
 市川 隆 盛岡赤十字病院副院長  
 白井 康雄 医療法人緑三堂白井循環器呼吸器内科院長

小松 隆 岩手医科大学医学部内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野准教授  
 田巻 健治 公益財団法人岩手県予防医学協会循環器科部長  
 千葉 直樹 ちばクリニック院長  
 那須 雅孝 医療法人社団恵仁会三愛病院副院長  
 野崎 英二 岩手県立中央病院統括副院長  
 森野 禎浩 岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野教授

■眼底検査専門部会

朝倉 章子 医療法人社団新津あさくら眼科クリニック院長  
 今泉 利雄 医療法人正和会みたけ眼科院長  
 岩見 千丈 岩手県立中部病院第1眼科長  
 小笠原 孝祐 医療法人小笠原眼科クリニック院長  
 小田島 祥司 小田島眼科医院長  
 白井 淳一 医療法人社団白井眼科クリニック院長  
 谷藤 泰寛 医療法人泰明会谷藤眼科医院長  
 玉田 康房 玉田眼科医院長  
 森 敏郎 森眼科クリニック院長  
 渡邊 敏明 わたなべ眼科医院長

■脳検査専門部会

及川 博文 岩手医科大学医学部放射線医学講座特任講師  
 大澤 宏之 岩手県立中央病院リハビリテーション科長  
 菊池 貴彦 岩手県立中央病院地域医療福祉連携室長・地域医療支援部次長・副脳神経センター長・神経内科診療科長  
 菅原 孝行 岩手県立中央病院医療情報管理部長・脳神経外科診療科長・脳神経センター長  
 關 博文 特定医療法人盛岡繋温泉病院長  
 高橋 弘明 岩手県立中央病院医療研修部長  
 中里 龍彦 岩手医科大学医学部放射線医学講座准教授  
 米澤 久司 岩手医科大学医学部内科学講座神経内科・老年科分野准教授

4. 女性健診専門委員会

※編成中

■乳がん検診専門部会

石田 茂登男 乳腺外科 いしだ外科胃腸科クリニック院長  
 宇佐美 伸 岩手県立中央病院乳腺外科・内分泌外科  
 大貫 幸二 岩手県立中央病院乳腺外科・内分泌外科診療科長  
 齊藤 純一 ブレスト齊藤外科クリニック院長  
 須原 誠 岩手県立中央病院  
 多田 隆士 盛岡友愛病院乳腺外科部長  
 谷村 清明 たにむらクリニック院長

■婦人科検診専門部会

※編成中

5. 小児および学校保健専門委員会

- 小山 耕太郎 ※学校心臓検診専門部会委員（岩手医科大学医学部小児科学講座教授）  
高橋 明雄 ※小児生活習慣病検診等専門部会委員、※先天性代謝異常検査等専門部会委員（社会福祉法人岩手愛児会もりおかこども病院副院長）  
谷村 純子 岩手県学校保健会養護教諭部会長  
千田 勝一 ※先天性代謝異常検査等専門部会委員（岩手医科大学医学部小児科学講座主任教授）  
那須 雅孝 ※学校心臓検診専門部会委員（医療法人社団恵仁会三愛病院副院長）  
前多 治雄 ※小児生活習慣病健診等専門部会委員（前多小児科クリニック院長）  
三上 仁 ※小児生活習慣病検診等専門部会委員、※先天性代謝異常検査等専門部会委員（岩手県立中央病院診療部小児科長）  
八木 浩之 岩手県教育委員会スポーツ健康課総括課長  
山口 淑子 一般社団法人岩手県医師会常任理事  
山崎 健 ※脊柱側弯検診専門部会委員（医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長）

■学校心臓検診専門部会

- 猪飼 秋夫 岩手医科大学医学部心臓血管外科学講座教授  
小山 耕太郎 岩手医科大学医学部小児科学講座教授  
齋藤 明宏 さいとう小児科クリニック院長  
高橋 信 岩手医科大学医学部小児科学講座講師  
田代 敦 岩手医科大学医学部内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野特任准教授  
那須 雅孝 医療法人社団恵仁会三愛病院副院長  
藤井 裕 一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院副院長  
森野 禎浩 岩手医科大学医学部内科学講座循環器内科分野教授

■脊柱側弯検診専門部会

- 加藤 貞文 かとう整形外科クリニック院長  
菅 義行 菅整形外科医院長  
田澤 睦夫 医療法人共生会松園第一病院  
鳥羽 有 医療法人盛紀会鳥羽整形外科医院長  
村上 秀樹 岩手医科大学医学部整形外科学講座准教授  
八幡 順一郎 特定医療法人盛岡繋温泉病院リハビリテーション部長  
山崎 健 医療法人巖心会栃内第二病院いわて脊椎・側弯センター長

■小児生活習慣病健診等専門部会

- 石垣 泰 岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝内科分野教授  
石川 健 岩手医科大学医学部小児科学講座特任講師  
遠藤 幹也 岩手医科大学医学部小児科学講座特任准教授  
高橋 明雄 社会福祉法人岩手愛児会もりおかこども病院副院長  
前多 治雄 前多小児科クリニック院長

三上 仁 岩手県立中央病院診療部小児科長

■先天性代謝異常検査等専門部会

- 佐藤 修 秋田県健康福祉部健康推進課副主幹兼班長  
菅原 智 岩手県保健所長会長  
高橋 明雄 社会福祉法人岩手愛児会もりおかこども病院副院長  
高橋 勉 秋田大学大学院医学系研究科機能展開医学系小児科学講座教授  
千田 勝一 岩手医科大学医学部小児科学講座教授  
野口 篤子 秋田大学大学院医学系研究科機能展開医学系小児科学講座  
三上 仁 岩手県立中央病院診療部小児科長  
南 敏幸 岩手県保健福祉部子ども子育て支援課総括課長  
山口 淑子 一般社団法人岩手県医師会常任理事  
吉田 耕太郎 一般社団法人岩手県医師会常任理事

6. ウイルス肝炎対策委員会

- 阿部 弘一 あべ菜園内科クリニック院長  
石川 和克 学校法人盛岡大学栄養科学部栄養科学科教授  
佐々木 美香 社会福祉法人岩手愛児会もりおかこども病院副院長  
杉江 琢美 岩手県保健所長会長  
滝川 康裕 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科肝臓分野教授  
中居 賢司 岩手県赤十字血液センター所長  
野原 勝 岩手県保健福祉部医療政策室長  
本間 博 一般社団法人岩手県医師会常任理事  
宮坂 昭生 岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科肝臓分野講師

7. メンタルヘルス対策委員会

- 青木 慎一郎 岩手県立大学社会福祉学部教授  
黒澤 美枝 岩手県精神保健福祉センター所長  
三條 克巳 岩手医科大学医学部神経精神科学講座助教  
藤井 由里 岩手産業保健総合支援センター相談員  
茂木 隆 公益財団法人岩手県予防医学協会





6. 機器整備

■ 検診車

平成 27 年 3 月現在

区分	あおざり	取得年月	補助等	所属管理	
循環器系検診車	1号	平成19. 2	岩手中部広域市町村圏事務組合	Big Waffle	
	2号	〃 6. 11	厚生省・岩手県		
	3号	〃 9. 3	厚生省・岩手県		
	6号	〃 16. 11	-		
	7号	〃 24. 5	-		
	10号	〃 23. 4	-		
	13号	〃 4. 2	厚生省・岩手県		
	14号	〃 5. 1	-		
	16号	〃 9. 10	-		
	17号	〃 10. 8	岩手県		
	18号	〃 12. 9	宝くじ		
	19号	〃 6. 3	岩手中部広域市町村圏事務組合		
	4号	平成12. 2	-		県南センター
	9号	〃 2. 3	-		
	12号	〃 3. 6	日本自転車振興会		
	15号	〃 5. 7	-		
	22号	平成9. 10	-		
	24号	〃 13. 8	-		Big Waffle
	29号	〃 3. 5	労働福祉事業団		
30号	〃 23. 3	-			
31号	〃 8. 4	-			
32号	〃 8. 7	-			
35号	〃 24. 3	-			
39号	〃 12. 10	結核予防会			
40号	〃 18. 9	宝くじ			
41号	〃 19. 12	日本財団			
71号	〃 15. 12	岩手中部広域市町村圏事務組合			
72号	〃 23. 3	香川県総合健診協会より譲渡			
73号	〃	静岡県産業労働福祉協会より譲渡			
74号	〃	那覇市医師会より譲渡			
75号	〃 25. 3	JA共済連			
21号	平成5. 7	-	県南センター		
旧23号	〃 4. 3	中央労働災害防止協会			
新23号	〃 23. 3	-			
25号	〃 25. 3	-			
27号	〃 10. 4	-			
33号	〃 8. 10	結核予防会			
38号	〃 11. 11	-			
45号	平成15. 10	-			
47号	〃 17. 11	日本自転車振興会			
81号	〃 22. 3	-			
82号	〃 22. 3	-			
胃部 X 線検診車	44号	平成13. 9	-	県南センター	
	46号	〃 12. 9	-		
	48号	〃 10. 8	郵政省（お年玉寄付金）		
	83号	〃 25. 2	JKA		
	51号	平成14. 3	-		Big Waffle
婦人科検診車	52号	平成6. 7	岩手県医師国民健康保険組合	県南センター	
脊柱側弯検診車	55号	平成8. 5	-	Big Waffle	
超音波検診車	56号	平成9. 6	-	Big Waffle	
	57号	〃 8. 5	滋賀研究保健センターより譲渡	県南センター	
乳房検診車	60号	平成11. 4	-	Big Waffle	
	61号	〃 14. 4	-		

■ 検診用検査機器

平成27年 3月現在

品名	主なメーカー・機種	台数	品名	主なメーカー・機種	台数
胸部 X 線撮影装置	日立・DHM-153 他	13	眼圧計	CANON・TX-F	3
	日立・DWS-1510J 他	6		CANON・TX-20	4
	日立・DHF-153HMS 他	2	血液学検査装置	シスメックス・XN9000	1
	島津・UD-150L-40E 他	5		シーメンスヘルスケア・ADVIA2120i	1
	島津・UM-150M	1		生化学自動分析装置	日立・LABOSPECT008 他
島津・MXO-15B 他	1	全自動グロヘモグロビン分析計	東ソー・HLC-723G8	9	
胃部 X 線撮影装置	東芝・DBX-4000A 他	7	全自動免疫測定装置	アボット・ジャパン・アーキテクト 他	3
	日立・TU-120DR 他	4		富士レビオ Lumipulse Presto II	1
	日立・TU-130 DR2000X 他	5	便潜血用自動免疫化学分析装置	栄研化学・OCセンサー-PLEDIA	2
	日立・MV-110 他	5	全自動尿分析装置	栄研化学・US-3300	3
	FUJI PPD AMULETs	2	光学顕微鏡	ニコン・ラブフォト Y 他	7
東芝・MGU-100D 他	2	ニコン・XRB-ph 他		3	
GE・セノグラフ 800T 他	2	オリンパス・BX43 他		7	
乳房 X 線撮影装置	日立・LORAD M-IV	1	オリンパス・BHB 他	1	
	SIEMENS・SOMATOM E-6	1	カールツアイス	2	
CT	日立 SCENARIA	1	顕微鏡写真撮影装置	オリンパス・BH-DO-2 他	2
	PHILIPS・GYRO SCAN	1	内視鏡システム	オリンパス	1
東芝 VantageTitan	1	富士		2	
MRI	フクダ電子・FCP-7311 他	39	経陰用超音波診断装置	ソノビスタ FX	1
	日本光電・ECG8410 他	12	高速液体クロマトグラフ	日立	1
マイコン心電計	フクダ電子・ECP-7641 他	12	ジーエルサイエンス	1	
学童マイコン心電計	フクダ電子・Vasera VS-1500A 他	4	ガスクロマトグラフ	日立	1
血圧脈波検査装置	チェスト・HI-801 他	12		島津	5
スパイロメーター	フクダ電子・SP-470	5	粉じん計	LD-3K2 他	8
超音波診断装置	SIEMENS・SEQUOIA 512	2	振動感覚計	RION・Au-20B	2
	TOSHIBA・SSA-660A 他	8	VDT視力計	トーマー・NS-050	8
	TOSHIBA・Aplio 400 他	7	VDT 視力計近点計	ニデック・VNP-200 他	4
	日立ALOKA・Prosound F75 他	10	皮膚温計	テクノセブン・D642-20	1
	フィリップス iE33 他	2	オートレフRACT	ニデック・AR-300A	3
超音波骨評価装置	ALOKA・AOS-100NW 他	8	メーター	トーマー RC-01	1
眼底カメラ	CANON・CR-DG10・Dgi 他	22	タッピング測定器	労研・TTK1347	6
	CANON・CR-2	4			

## 7. 精度管理実施状況

### ■内部精度管理

検査データの正確性・精密性の維持向上を目的とし日々実施している。検体の取り違い、検体運搬・保存方法など検査前の管理から、サンプリング方法・分析機器の管理コントロールを用いての日差・日内変動などをチェックし、検査結果の評価を行っている。

### ■外部精度管理

コントロールサーベイやクロスチェックにより、他施設との比較を行い自施設の検査精度・検査データの正確度を評価している。客観的な正確度の評価を行い、精度・技術の向上に繋げており、当協会は常に高い評価を得ている。

主に下記団体主催の精度管理調査に参加している。

日本医師会	日本総合健診医学会
岩手県医師会	予防医学事業中央会
日本臨床衛生検査技師会	全国労働衛生団体連合会
岩手県臨床衛生検査技師会	日本作業環境測定協会

### ■技術研修

内部・外部精度管理のほか、主に下記団体主催の研修会へ参加し、知識や技術の向上等に努めている。

科 目	主催団体及び講習会名称
胸 部 X 線	結核予防会放射線技師研修会 結核予防会胸部検診対策委員会フィルム評価会 全衛連胸部エックス線検査研修会 日本対がん協会・結核予防会共催診療放射線技師研修会
胸 部 C T	日本CT検診学会 岩手県CT研究会
胃 部 X 線	日本消化器がん検診学会東北地方会 日本消化管画像研究会 日本消化管造影技術研修会 日本消化器画像診断情報研究会 日本消化器がん検診精度管理評価機構研修会 岩手消化管撮影研究会 日本対がん協会・結核予防会共催診療放射線技師研修会
乳 房 X 線	日本乳がん検診精度管理中央機構 日本乳癌検診学会 結核予防会マンモグラフィ講習会 いわて乳腺疾患フォーラム 日本対がん協会・結核予防会共催診療放射線技師研修会
脳 M R I	日本脳ドック学会 東北地区MR (Gyro) 研究会 岩手MRI研究会

心 電 図	日本心電学会 日本小児循環器学会 予防医学事業中央会研修会 全衛連生理機能検査講習会 岩手県臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会 東北臨床検査技師会生理機能部門研究会
肺 機 能	岩手公衆衛生学会 自動呼吸機能検査研究会
超 音 波	日本心エコー図学会 日本超音波検査学会および東北地方会 日本乳腺甲状腺超音波医学会 日本乳癌検診学会 日本超音波医学会および東北地方会 日本消化器がん検診学会および東北地方会 予防医学事業中央会研修会 日本乳癌学会東北地方会 いわて乳腺疾患フォーラム 岩手乳腺疾患研究会 岩手心エコー図研究会 岩手腹部超音波研究会 宮城乳腺画像研究会
臨 床 検 査	日本臨床細胞学会 日本マス・スクリーニング学会 予防医学技術研修会 先天性代謝異常症等検査技術者研修会 東北臨床検査技師会血液部門研修会 〃 一般検査部門研修会
骨 量	日本骨粗鬆症学会
環 境 調 査	日本作業環境測定協会 中央労働災害防止協会
眼 底	全衛連生理機能検査講習会
全 般	日本人間ドック学会

## 8. 許可、認可等

---

特定健康診査機関・特定保健指導機関  
全国健康保険協会管掌健康保険健診実施機関  
労働者健康保持増進（THP）サービス機関  
労災保険二次健康診断・特定保健指導指定機関  
予防医学事業中央会ヘルスアップネット健診実施機関  
結核予防会 J A T A 健康ネットワーク事業実施機関  
全国労働衛生団体連合会会員協同制度提携機関  
日本総合健診医学会優良総合健診施設  
日本人間ドック学会健診施設機能評価認定機関  
労働衛生サービス機能評価機構第 81 号認定機関  
日本乳がん検診精度管理中央機構施設画像評価認定機関  
CDC／C R M L N による国際標準化 プロトコール（Phase-1・2）の認定  
日本臨床細胞学会認定施設  
プライバシーマーク付与認定

---

## 9. 全国組織とのかかわり

---

公益財団法人予防医学事業中央会（岩手県支部）  
公益財団法人結核予防会（岩手県支部）  
公益社団法人全国労働衛生団体連合会会員  
公益社団法人日本作業環境測定協会会員  
一般社団法人日本病院会会員  
公益社団法人日本人間ドック学会会員  
一般社団法人日本総合健診医学会会員  
一般社団法人日本老年医学会会員

---

## 10. 付属診療所

---

保険医療機関  
労災保険指定医療機関  
禁煙外来保険診療認定医療機関  
結核指定医療機関  
生活保護法及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び  
永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づく指定医療機関

---

---

**事業年報2016 第44号（平成26年度報告）**

2016（平成28）年4月発行

発行者 石川 育成

編集 事業推進課 渉外・広報係

発行所 公益財団法人岩手県予防医学協会

〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号

電話 019-638-7185（代）

ホームページ：<http://www.aogiri.org>

印刷 永代印刷株式会社

---



☆営業日  
月曜日～金曜日  
(土・日・祝日・盆・年末年始  
を除く)

☆営業時間  
10:00～16:00

### 管理栄養士監修のランチが自慢です！

みなさんに普段の食生活を見直す機会になればと思い、食事のバランスと適量の確認ができるようメニューを考えて提案しています。全てのランチメニューに野菜の小鉢を用意し、食事の最初に食べる事をおすすめしています。これは、血糖上昇の抑制や満腹中枢の刺激に繋がるからです。ランチの他にも手作りのミックスジュースや保存料・添加物不使用のスイーツもありますので、お気軽にご利用ください。



ふわっフル好評発売中！

学校法人スコールと共同開発したオリジナルスイーツを販売中。

クリームなし@110円

クリーム入り@150円

3個セット@400円 (税込)



### いつも身近にあなたの健康サポーター

「メタボにならないためには、どうしたらいいの？」  
「ダイエットに挑戦しても、うまくいかない・・・」  
そんなあなたの健康づくりを健康げんき倶楽部が応援します。

健康げんき倶楽部は会員制のヘルスサポートシステムです。あなたにぴったりの健康づくりを専門スタッフがサポートします。

☆営業日 月曜日～土曜日  
(祝日を除く)

☆営業時間 平日 10:00～21:00  
(プールは 20時まで)  
土曜 10:00～17:00  
(プールは 16時まで)



ウォーキング専用プールを併設



### ココロカラダ ヨロコブ講座

・やさしいメンタルヘルス  
・ランチで学ぶ栄養学  
・バランスボール  
・水中ウォーキング など  
(前年度実績より)  
今年度も様々な講座を企画いたします！

詳しくは Web で  
[www.aogiri.org](http://www.aogiri.org)

★★★ お問合せ・お申込 →→→ 健康推進課 019-638-4886 (直通) ★★★

